

私の位は小2の町も、空王層問題、過剰化
少子化の現代社会が抱える問題を抱えるよう
になり、町内の活性化、まちづくりというテ
ーマにぶつかっている。

空王層に関しては、まずは、家の継承を大
事に子育ても考え、同居を好むように世の中
が原点に戻るべきである。私は結婚してすぐ
同居をして、二十数年。同居して良かったと
思っている。一人である。

鬼ヶの町になるには、却祖園に行ける

くても、学校が終わっても子供はあちか身しく
安全にいられる体制や人が地域にいることで
ある。

地域の中で子育てリィダを育て理解ある
老世帯の家で託児出来るようにして、人の出
入りの少くなつていく家を明るくにする。

場所を変えていくことである。夕方は、そうし
た家の中を順番に一杯所に集まり、昔ながら
の遊びやおやつ作りを共に楽しむ。世代を越

えた交流とお互いを知るといふ関係作りをす

への思いは、行ける

るようになっていく。

その水は、地域で子供を育てる体制作りである。これが生まれれば、待機児童の問題や、非行に走る子供の減少にもつながる。

今、実際、声をおけたくても、この子供の命からない、という現状で昔ながらの地域でその現実がある。人の過疎化がやてなく、心も関心も過疎化である。

出来れば地域の中で有識者に自分の現状のすごさをアピールしてもらえようという企業を

たてて、音を開き刺戟をうける場所になると

より良い。社会から年々離れて活躍の場のな

くなる方々の足跡を地域の若者も知ることは

貴重財産になることもある。地域に任せて

いる者が次の世代と交流をもちていくことを

耐やさないこと。

残念ながら、上の年令の方が活性化しだかっ
ている伝統行事の復活や、力を入れていることでは
ない。御まごかりの世代や安心して外に出
られる仕組みや新しいメニューがある地域になる

こと。

空乏層の児童保育の場所に提供して子供に
 ちか育つ場にしたらよい。必ず子育てリレー
 の元で。お手伝いや助け合いも教えていく。
 育つ子供にとってもメリットだが、上の層
 にマイナスばかりではない。自分を知ってい
 る世代、地域にいきこは優々、心の支えに
 なる。お世話なら、知らないおっちゃんも他人
 だが、小こい吹遊人てくれた。教えてくれた
 おっちゃんも他人じゃなくなる。そういう人

に対して無関心ではなくなる。知らぬ人の
 話は、心も体も動かぬ。

私にはその構想心があった。叔母は、子供に
 ちを一所で預かり、そこで習い事も宿題も
 終わらす。買い物物にいたりして食料当番を
 求め、夕食を皆で食べれるように務めたりする
 子供たちを育てる。私はピアノを教えたり水子
 し、習い事などもそこそこの用がたりする口で
 入るのを作る。親は守心して残業も出来る。
 子供たちも皆と一緒、誰かと一緒、協同作業

や 共有する空間や決まりの中で人にあわせ
て生活すること自分の役割。 やれることに
行く。異年齢の違いにより気付け。 やする
しとや。人にあわせることの協調性も学ぶ。
一筋の勉強する目的の学校とは少し違い。一
緒に生活するための知恵を学ぶ感じに近い。
もし水たまり。体を悪くしたため夢に終わるか
もし水たまりか。個人の欲求で100人近い子供
ちを果敢て下。私には出来ずかもし水たまりと
思え子希望が貝えていた。

4

社会も不安。地域も不安。安心安全に子供
たちのかげ回水子場作りをすること。それ
こそ地域のかきを入れてやるべきこと。それし
たつばかりが強く水たまり。自然に伝流り平も
復活し。可成り水たまりに位人でいる者かしぬい
はそれのである。